

2021年度の事業報告書  
2021年8月24日～2022年7月31日まで

一般社団法人Change Our Next Decade

1 事業の実施に関する事項

(1) 日本ユースの政策提言能力を養成するための事業

日本ユースの政策提言能力の向上を目的としたセミナーの開催、生物多様性条約や関連する国際的な動向を把握するための国際会議への出席、環境省などへの意見提出(提言)を実施した。

事業名	事業内容	参加者数
政策提言能力強化セミナーの開催	<p>生物多様性分野において活動するユースの育成と政策提言手法や能力などのノウハウの継承を目的にオンラインセミナーを開催した。</p> <p>(1)11月4日(木)19:00~21:00 講義①生物多様性/生物多様性条約/生物多様性国家戦略について(講師:道家哲平氏)</p> <p>(2)11月11日(木)19:00~21:00 講義②海洋生物多様性について/野生生物保護について(講師:豊島淳子氏/鈴木希理恵氏)</p> <p>(3)11月18日(木)19:00~21:00 講義③ABS/名古屋議定書について/気候変動と生物多様性について (講師:小林邦彦氏/山岸尚之氏)</p> <p>(4)11月25日(木)19:00~21:00 講義④政策提言について (講師:草刈秀紀氏)</p> <p>(5)模擬提言書作成に向けたグループワーク(全3回) ① 12月2日(木)19:00~21:00 ② 12月9日(木)19:00~21:00 ③ 12月16日(木)19:00~21:00</p> <p>(6)模擬提言書の発表と専門家によるフィードバック 12月23日(木)19:00~21:00  (講評:宮本育昌氏/名取洋司氏/環境省(奥田青洲氏)/小林邦彦氏)</p>	<p>(1) 12名 (2) 12名 (3) 13名 (4) 12名 (5)①11名 ②8名 ③8名 (6) 10名</p>
専門頻出用語集の立案・検討	<p>生物多様性保全、生物多様性条約などに関する専門用語や頻出単語についての専門頻出用語集の立案と検討を実施し、デザイン案の作成を行った</p>	-
国際会議への参加	<p>(1)ポスト2020年生物多様性枠組第3回公開作業部会 8月23日～9月3日</p>	<p>(1)2名 (2)3名</p>

	<p>オンラインで開催されたポスト2020年生物多様性枠組第3回公開作業部会(OEWG3)にCONDからオンラインで2名が参加した。</p> <p>(2)IUCN World Conservation Congress 9月3日～9月11日 フランス・マルセイユとオンラインのハイブリッドで開催されたIUCN World Conservation Congress(IUCN-WCC)にCONDから3名がオンラインで参加した。</p> <p>(3)North-East Asia Youth Session 10月15日15:00～18:00 Zoom HLPFの重点目標の一つである気候変動に関して環境系のユースとしてプレゼンを実施した。</p> <p>(4)第22回日中韓三カ国環境大臣会合ユースフォーラム 12月11日(土)10:30～17:00 TEMM22の開催にあわせてオンラインで開かれたTEMM22ユースフォーラムにCONDから1名が参加した。</p> <p>(5)ジュネーブ会合 3月14日(月)～29日(火) スイス・ジュネーブで開催された生物多様性条約第24回補助機関会合(SBSTTA24)・第3回条約実施補助機関会合(SBI3)ポスト2020年生物多様性枠組第3回公開作業部会(OEWG3)の再開会合にCONDから現地参加1名、オンライン参加1名の計3名が参加した。</p> <p>(6)第2回アジア国立公園会議 5月24日(火)～29日(日) マレーシア・コタキナバルで開催された第2回アジア国立公園会議(2nd Asia Parks Congress:APC2)にCONDから2名が現地参加した。</p> <p>(7)ストックホルム+50 6月2日(木)～3日(金) スウェーデン・ストックホルムで開催されたStockholm+50会議にCONDから1名が現地参加した。</p> <p>(8)ポスト2020年生物多様性枠組第4回公開作業部会 6月21日(火)～26日(日) ケニア・ナイロビで開催されたポスト2020年生物多様性枠組第4回公開作業部会(OEWG4)にCONDから現地参加1名、オンライン参加2名の計3名が参加した。</p>	<p>(3)1名 (4)1名 (5)1名 (6)2名 (7)1名 (8)3(1名現地, 2名オンライン)</p>
意見交換会・ヒアリングへの参加	<p>「中央環境審議会自然環境部生物多様性国家戦略小委員会(第2回)」への参加 2021年12月17日(金)13:30～17:00 次期生物多様性国家戦略の策定に向けた関係者ヒアリングが行われ、CONDからは1名が出席した。</p>	1名

(2) 多くのユースに関連する内容を普及啓発する事業

生物多様性をより日本ユースに身近に感じてもらう為、生物多様性に関するイベントや講演を実施した。また、生物多様性保全活動を行うユースにインタビューを実施し、それらを弊団体のYouTubeチャンネルに投稿した。他にも団体メンバーで生物多様性クイズを行う動画なども作成しYouTubeに投稿した。情報発信はYouTube以外にもFacebookやInstagramを使用し、ストーリー機能の活用などでモーリシャス座礁事故の風化防止の為の投稿などを実施した。

事業名	事業内容	参加者数
外部主催イベントへの出展・運営	<p>(1)清里ミーティング 2021年12月5日(日)から11日(土)にかけてオンラインで実施された清里ミーティングに参加した。</p> <p>①ワークショップ ワークショップでは行動変容モデルを用いて生物多様性保全や環境問題解決に向けて効果的に活動するためにはどういうことが必要なのか参加者とともに考えた。</p> <p>②10分プレゼン 10分プレゼンでは、昨年度実施した生物多様性ユースアンバサダー九州チームの奄美大島での活動事例から、環境保全における地域の文化の重要性についてプレゼンを実施した。</p> <p>(2)「生物多様性国家戦略を考えるフォーラム ONLINE2022 2030&lt;ネイチャーポジティブをめざして&gt; 次世代の海を多様性溢れる場所へ～海洋生物多様性保全を多角的な環境問題から考える～」 2022年5月12日(木)13:00~15:00 Zoom 海洋生物多様性保全をテーマに複数の専門家を招待して話題提供とパネルディスカッションを実施した</p> <p>(3)第3回パリ協定とSDGsのシナジー強化に関する国際会議 2022年7月20日(水) 第3回パリ協定とSDGsのシナジー強化に関する国際会議においてJapan Youth Platform for Sustainability(JYPS)、Climate Youth Japan(CYJ)との協働でサイドイベントを開催した。サイドイベントで集約した意見を元に提言書を作成し、主催団体等に手交した。</p>	<p>(1)①20名 ②約20名</p> <p>(2)約80名</p> <p>(3)約44名</p>
生物多様性の日キャンペーン	<p>(1) 記念動画の作成・公開 YouTubeにて生物多様性の日を記念し、動画を公開した。</p> <p>(2)普及用画像の作成・公開 Instagramにて生物多様性の日を普及させるための画像を投稿した。</p>	<p>(1)7名 (2)2名</p>

<p>SNSを用いた 生物多様性関 連情報の発信</p>	<p>(1)モーリシャス座礁事故に関するSNS投稿 Instagramにて、モーリシャスでの重油流出事故に関する投稿をした。</p> <p>(2)発信コンテンツ作成のための情報収集 SNSでの発信コンテンツの作成のため、生物多様性に 関連する場所の視察を実施した。 ①葛西臨海公園 2022年4月24日(日) 都市近郊における緑地やラムサール条約登録湿地が 担う都市緑地の働きや、水族園が東京湾において実施 している保護活動について視察した。</p> <p>②奄美大島 2022年5月4日(水)～9日(月) 奄美群島国立公園と世界自然遺産登録地における、 自然保護の現状と課題について探るために、マン グ ローブ林や複数の海岸線等を視察した。</p> <p>③高田松原津波復興祈念公園、唐桑半島ビジターセ ン ター 2022年5月12日(日) 生物多様性の観点から過去に岩手・宮城が受けた震 災の影響について視察した。</p>	<p>(1)2名</p> <p>(2)①7名 ②3名 ③2名</p>
<p>地域の生物多 様性を広く発信 するための ユースネット ワーク構築</p>	<p>国内でユースによって行われている優良な生物多様性 保全事例を取り上げ発信するために、地域で活動する ユースたちにインタビューを実施した。また、それらを動 画にしYouTubeにて投稿した。他にも若者の生物多様 性に関する意識調査をオンラインアンケートにて行っ た。</p> <p>(1)Getting Associate Into Action(GAIA)(愛知県) 2022年02月13日(日)オンラインにてインタビュー を実施</p> <p>(2)琉球大学エコロジカル・キャンパス学生委員会(沖 縄県) 2022年02月25日(金)オンラインにてインタビュー を実施</p> <p>(3)ジンデ池生物研究所(高知県) 2022年02月23日(水)オンラインにてインタビュー を実施</p> <p>(4)高知商業高等学校ジビエ商品開発・販売促進部(高 知県) 2022年03月09日(水)オンラインにてインタビュー を実施</p> <p>(5)谷津干潟ユース(千葉県)</p>	<p>(1)4名 (2)4名 (3)4名 (4)9名 (5)9名 (6)3名 (7)1000名</p>

	<p>2022年05月03日(火)谷津干潟自然観察センターにてインタビューを実施</p> <p>(6)フィッシャーマンジャパン(宮城県) 2022年06月11日(土)フィッシャーマンジャパン事務所にてインタビューを実施</p> <p>(7)若者の生物多様性に関する意識調査 オンラインアンケート調査会社に委託し、若者の生物多様性に関する意識調査を実施</p>	
次期生物多様性ユースリーダー育成プログラム	<p>生物多様性分野において主体的に活動を行うユースが増加し、技術や能力をはじめとするノウハウが適切に継承されることを目的にオンラインセミナー・ワークショップを開催した。</p> <p>(1) 2021年11月16日(土) 講義①生物多様性とSDGsのつながり (講師:矢動丸琴子)</p> <p>(2) 2021年11月13日(土) 講義②外来種/絶滅危惧種 (講師:五箇公一氏/道家哲平氏)</p> <p>(3) 2021年11月20日(土) 講義③田んぼと湿地の生物多様性/海洋生物多様性 (講師:安藤よしの氏/宮本育昌氏)</p> <p>(4) 2021年11月27日(土) ワークショップ 課題解決、コミュニケーションスキルの向上 (講師:鴨川光氏)</p> <p>(5) 2021年12月4日(土) 講義④先住民と自然の権利/自然資本 (講師:三石朱美氏/名取洋司氏)</p>	<p>(1)3名 (2)5名 (3)5名 (4)5名 (5)5名</p>
生物多様性サミット	<p>生物多様性サミット 2022年2月19日(土)10:00~17:10 NPO法人エコ・リーグとCONDでオンラインイベントを協働開催した。午前の部にはパネルディスカッション、午後の部では分科会を実施し、生物多様性に関連する様々な社会課題の解決に取り組む方々の視点をふまえ、どのように行動を起こしていったら良いのかを考えるきっかけを提供することを目指し実施した。</p> <p>【午前の部】取組を知る一他分野の取組から学ぶ生物多様性との関わり (パネリスト:久保田崇氏/佐藤彰子氏/瀬川敬太氏 矢動丸琴子)</p>	約50名

	<p><b>【午後の部】自分にできることを考える</b> 分科会1: ESG投資から考える社会課題の解決 (講師: 水口剛氏 / 松原稔氏)</p> <p>分科会2: グリーンインフラから考えるこれからの開発 (講師: 平井勝氏 / 長谷川啓一氏)</p> <p>分科会3: 行動変容から考える活動のヒント (講師: 林芙美氏 / 藤木庄五郎氏)</p>	
--	---	--

## 2 事業の主な成果

### (1) 政策提言事業

- ・意見書・要望書・提言書の作成
- ・報告会の参加

環境省等との意見交換会の際に意見書・要望書を作成し、提出した。

No	種別	日付	タイトル	宛先	連盟団体等
1	意見書	2021年 10月10日 (日)	「東京都のあるべき将来像」	東京都環境審議会	
2	パブリックコメント提出	2022年3月3日(木)	サンゴ礁生態系保全行動計画2022-2030(案)へのパブリックコメント募集に向けてCOND内の意見を収集・提出	環境省	
3	意見書	2021年12月17日(金)	自然共生社会の実現に向けた若者からの3つの提言	次期生物多様性国家戦略小委員会	
4	提言書	2022年3月3日(木)	Proposals on the First Draft of the Post-2020 Global Biodiversity Framework		Global Youth Biodiversity Network (GYBN) - Japan
5	提言書	2022年7月21日(木)			Japan Youth Platform for Sustainability(JYPS) Climate Youth Japan(CYJ)

### (2) 普及啓発事業

#### ・SNS投稿

生物多様性に関連する投稿やモーリシャス座礁事故の風化防止のためストーリーを投稿した。

#### ・動画の作成と公開をした。

CONDメンバーで国際会議の様子や生物多様性に関するクイズを実施し、それらの動画をYouTubeにて公開した。

他にも、生物多様性の日キャンペーンでのユースの想いをとりまとめた動画をYouTubeに公開した。

日付	シリーズ	タイトル	再生回数 (2022/08/07 時点)

2022年1月20日	CONDと学ぶシリーズ	CONDと学ぶESG投資！	41回
2022年1月28日	CONDと学ぶシリーズ	CONDと学ぶグリーンインフラ！	39回
2022年2月18日(金)	CONDと学ぶシリーズ	CONDと学ぶナッジ！	23回
2022年3月12日(土)	CONDと学ぶシリーズ	CONDと学ぶ！国際会議1～ジュネーブ会合準備編～	50回
2022年3月21日(月)	CONDと学ぶシリーズ	CONDと学ぶ！国際会議2～現地中継編～	29回
2022年3月31日(木)	CONDと学ぶシリーズ	CONDと学ぶ！国際会議3～会合振り返り編～	31回
2022年4月3日(日)	生物多様性ユースレポーター	【インタビュー企画】GAIA(生物多様性ユースレポーター)	29回
2022年4月3日(日)	生物多様性ユースレポーター	【インタビュー企画】琉球大学エコロジカル・キャンパス学生委員会(生物多様性ユースレポーター)	16回
2022年5月22日(日)	CONDと学ぶシリーズ	CONDと学ぶ！生物多様性の日	20回
2022年5月22日(日)	キャンペーン	COND生物多様性の日2022記念動画	42回
2022年6月20日(月)	CONDと学ぶシリーズ	CONDと学ぶ！～OEWG4準備編～	49回
2022年6月27日(月)	CONDと学ぶシリーズ	CONDと学ぶ！OEWG4現地中継編	33回
2022年7月6日(水)	CONDと学ぶシリーズ	CONDと学ぶ！OEWG4～振り返り編～	23回

### (3) 外部イベント登壇

No	種別	日付	イベントタイトル	主催	共催等
1	国際会議	2021年9月15日(水)	北東アジアSDGsユースセッション	SDSN Youth Russia	
2	報告会	2021年9月	OEWG 3参加報告会	IUCN-J	



		17日(金)			
3	イベント	2021年12月5日(日)	清里ミーティング10分プレゼン	日本環境教育フォーラム(JEEF)	
4	イベント	2021年12月11日(土)	清里ミーティング全体会②ファシリテーション	日本環境教育フォーラム(JEEF)	
5	国際会議	2021年12月11日(土)	第22回日中韓三カ国環境大臣会合ユースフォーラム	日中韓協力事務局(TCS)	
6	小委員会	2021年12月17日	次期生物多様性国家戦略小委員会	環境省	
7	意見交換会	2021年12月23日	環境省・NGO意見交換会	IUCN-J	
8	シンポジウム	2021年12月18日(土)	生物科学学会連合「気候変動が生物多様性に与える脅威—地球はどれくらい危機的状況か—」	生科連地球生物プロジェクト委員会	
9	国際会議	2022年4月25日(月)	ストックホルム+50プレユース会議	スウェーデン大使館	
10	報告会	2022年4月26日(火)	ジュネーブ会合参加報告会	IUCN-J	
11	報告会	2022年6月16日(木)	「ストックホルム+50が残したもの:地球環境の世代間衡平の実現に向けて」	公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)	
12	講義	2022年7月11日(月)・12日(火)	ドルトン東京学園	国土館大学	
13	サイドイベント	2022年7月21日(木)	第3回パリ協定とSDGsのシナジー強化に関する国際会議「Multi-Stakeholder session」	公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)	
14	報告会	2022年7月26日(火)	OEWG 4参加報告会	IUCN-J	